

事業報告書（令和5年度）

事業名 「うらじゃ」による持続可能な社会貢献

団体名 あかね空 担当者名 深谷あかね

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

2023年4月～2024年3月の活動

◆定期練習

4/10 14:00-16:00 玉島練習（Cafe 陶）10人

4/12 18:00-20:00 うらじゃ全員集合練習 40人

4/18 18:00-20:00 岡山支部うらじゃ練習（東山公民館）20人

4/20 18:00-20:00 うらじゃ全員集合練習 40人

4/25 14:00-16:00 玉島練習（Cafe 陶）10人

以降、5月～8月同様

・毎週月曜日 14:00-16:00 玉島練習（Cafe 陶）10人

・毎週火曜日 18:00-20:00 岡山支部うらじゃ練習（東山公民館）20人

・毎週木曜日 18:00-20:00 うらじゃ全員集合練習 40人

9月以降

・定期イベントに向けた定期練習

◆不定期・個別イベント

4/9 11:00-14:00 牛窓屋市 バザーブース出展（牛窓）20人

7/22 12:30-15:30 夢手形ギネス参加（西大寺緑化公園）35人

8/19 9:00-18:00 うらじゃ本祭（岡山駅前・その他）40人

8/20 9:00-18:00 うらじゃ本祭（岡山駅前・その他）40人

9/2 11:00-15:00 浮田小学校校庭マルシェでうらじゃ踊り（浮田小学校）10人

10/15 13:30-16:00 東山公民館分化祭参加うらじゃ踊り（東山公民館）10人

10/21 13:00-13:40 瀬戸内旭川荘せとうちふれあいまつりうらじゃ踊り（旭川荘）20人

10/22 12:15-16:00 瀬戸内文化祭うらじゃ踊り（瀬戸内市中央公民館）20人

17:00-19:00 山陽学園祭うらじゃ踊り（山陽学園大学）10人

11/3 11:00-16:00 あかね空バーベキュー（岡山市）30人

11/5 10:00-16:00 瀬戸内牛窓国際交流フェスタうらじゃ踊り（牛窓）25人

11/26 10:30-11:30 備前福岡大市うらじゃ踊り（瀬戸内市備前福岡）15人

12/16 17:30-20:00 Xmas & 忘年会（岡山市）40人

2/12 11:00-13:00 「ひでちゃんのはだかまつり」紙芝居（西大寺緑化公園）20人

3/3 9:00-15:00 西大寺会陽あと祭りうらじゃ & 紙芝居 & 能登半島地震募金活動（西大寺観音院）25人

2. ESDの視点
1 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか
<p>1) 「うらじゃ」参加によるうらじゃの理解を深める：</p> <p>⇒うらじゃの歴史から誰でも気軽に参加できる楽しみ、県民一体となったイベントを楽しむことの理解につながりました。うらじゃの基本を理解した上で、あかね空ではテーマ（地球全体が仲間）をもってオリジナル曲（ガイアパーク）を外部講師に依頼して作成し、うらじゃ及び岡山県内のイベントに参加し、あかね空の思いを共有してきました。</p> <p>2) 多様性のあるメンバーが多数所属する会でのコミュニケーション力向上</p> <p>⇒年代の幅はありますが、国籍も多様で、子供同士の繋がりが出来、パーベキューやクリスマス会の開催も出来ました。また、地域社会とのつながりもでき、様々なイベントからお声掛けいただくこととなりました。</p> <p>3) 健康増進</p> <p>⇒うらじゃの中に、「ベリーダンス」「フラダンス」「タヒチアンダンス」等を組み入れ、様々なダンスと普段使わない筋肉を活性化させ、健康増進に繋がりました。</p> <p>4) 生きがい、やりがいの発見</p> <p>⇒うらじゃの楽しさを感じ、自ら他のうらじゃ連にも参加して楽しむ人がいました。</p> <p>5) 岡山県内の各地域・イベントを通じた歴史・文化の理解と伝承</p> <p>⇒西大寺会陽では、会陽に関するノンフィクション紙芝居を入手し、披露するとともに、紙芝居の登場人物本人とその作者をお呼びし、当時の会陽祭りの様子等を皆さんに聞いていただき、会陽に関する理解と普及に貢献しました</p>
②どのように学び合いを取り入れたか
<p>イベントに参加する中で、地域の人との関りで学んだこと、各地域の伝統・文化の理解と喜んでもらえることの楽しさ、人前で堂々と踊ることの楽しさをメンバー内で共有</p> <p>⇒瀬戸内牛窓国際交流フェスタでは、当時の朝鮮通信使の歴史や内容をメンバー内で共有して楽しみました</p> <p>⇒紙芝居「ひでちゃんのはだかまつり」では、当時の様子などを紙芝居に登場する本人をお呼びして当時の様子などをメンバー内で共有して楽しみました</p>
③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか
<p>うらじゃを通じて自己表現の楽しさ、多様な人との繋がりを楽しみ、メンバー自らがイベントを企画・調整することで、地域貢献・活性化につなげ、地域の伝統文化の理解と自己成長を促進する</p> <p>⇒パーベキュー、クリスマス会の開催はもちろん、地域からお声掛けいただいたイベント等もメンバーが段取りと調整を行い、皆さんの経験に繋がりました。</p>
3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）
<p>1) 不登校児童の性格向上</p> <p>⇒不登校児童でもあかね空には頻繁に参加してくれた児童が2,3人いました。あかね空で同世代の子供たち、大人たちと関わり合い、徐々に自信を取り戻してくれたように思います。学校にも行き始めたと聞いています</p> <p>2) 生涯の友・人脈発掘</p> <p>⇒あかね空の中でも個別につながりができ、趣味や志向で関りが広がりました。</p> <p>3) うらじゃ活性化への貢献</p>

⇒様々な場所でうらじゃを披露させていただきました。参加者を巻き込むことを意識しているため、見に来た方も楽しんでいただけたように思います。

4) メンバーの生きがい発掘・笑顔増進

⇒練習の開始前・終了後もコミュニケーションが増え、メンバーの生き生きとした笑顔が沢山見られました

5) 生活の質向上

⇒2023年8月うらじゃ終了後、メンバーが自ら手を上げ、イベントの企画を提案し、実行してくれました。買い出しや調整、やりがいをもって取り組んでいただき、健康・笑顔・ストレス解消として生活の質向上につながったと考えます。

6) 地域の方々からの感謝の言葉

⇒様々な地域イベントに参加しました。感謝の言葉も多数いただき、大変うれしく思いました。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

①事業でとりあげる「持続可能な社会づくり」の課題

- 1) コロナ禍による生きがい・やりがい消失、2) 外出控えによる運動不足、3) 少子化・核家族化による世代間交流の減少、4) 「うらじゃ」参加者の減少、5) 各市町村のイベント参加者の減少

②事業でとりあげる「持続可能な社会づくり」の目標

- 1) 県民の生きがい・やりがいの創生、2) 「うらじゃ」による健康増進、3) 0歳～高齢者までの世代を超えた交流、4) 「うらじゃ」の認知度向上・活性化、5) 市町村のイベント活性化と市町村歴史・伝統文化の理解

